

今話題の世界の熱帯医学、渡航医学、感染症に関する  
ニュース&トピックスをピックアップして配信いたします。

## 乳酸菌が新生児の敗血症を減らした (インドでの研究)

-----

インドの田舎の村で 4556 人の健康な新生児を対象に RCT が行われた。  
*Lactobacillus+fructooligosaccharide* (シンバイオティクス) を 7 日間投与した群ではプラセボ群と比べ、敗血症の発生率、死亡率が有意に少なかった。(Primary outcome は Sepsis および死亡率 (5.1% vs. 8.9%; P<0.001)。比較的安価、容易に準備ができるシンバイオティクスの効果に期待したい。  
Nature 548, 407-412 (24 August 2017)

## クリミア、コンゴ出血熱の院内感染

-----

クリミアコンゴ出血熱 (Crimean-Congo Hemorrhagic Fever CCHF) はダニ媒介ウイルス感染症である。アフリカ大陸からヨーロッパ、中国西部が流行地域となっている。人畜共通感染症で、野生動物、家畜が自然宿主となっている。2016 年にスペインでクリミアコンゴ出血熱の症例を経験した。最初の症例となった 62 歳男性は血小板減少、多臓器不全、出血傾向で亡くなったが、その際挿管、中心静脈カテーテルの介助をした 50 歳の看護師が罹患した。同様に出血傾向をきたしたが、集中治療の未改善した。  
# 印象的な症例報告です。一読を勧めます。出血熱の院内感染のリスク、院内感染対策の重要性を再確認しました。  
N Engl J Med. 2017 Jul 13;377(2):154-161.

【マヒドン大学熱帯医学部原虫講座】e-ラーニング近日公開  
講師.マヒドン大学熱帯医学部特任教授 森 博威

---

■ □ ■ 【発行元】 特定非営利活動法人グローバルメディカルサポート (月 2 回)

□MAIL. [info@npo-gms.org](mailto:info@npo-gms.org)

□URL. <http://npo-gms.org/index.html>

□FB. <https://www.facebook.com/NPOGMS/>

